



Press Release

2026年9月4日

株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス

株式会社 ICHIKAWA

TMES 株式会社

日本ピーマック株式会社

株式会社アドプレックス

広島高速交通株式会社

デジタルサイネージと駅ホームの暑熱対策を融合した デジタルサイネージ一体型空調機の実証事業を開始 ～アストラムラインに設置し、快適性向上と情報発信力向上の有効性を検証～

株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス（本社：広島県広島市、取締役社長：岩崎^{ひさし}央、以下「ESS」）、株式会社 ICHIKAWA（本社：広島県広島市、代表取締役社長：市川 二郎、以下「ICHIKAWA」）、TMES 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：横手^{としかず}敏一、以下「TMES」）、日本ピーマック株式会社（本社：神奈川県厚木市、代表取締役社長：土谷^{かちよう}科長、以下「日本ピーマック」）、株式会社アドプレックス（本社：広島県広島市、取締役社長：田中 康義、以下「アドプレックス」）、広島高速交通株式会社（本社：広島県広島市、代表取締役社長：荒神原^{こうじんばら} 政司、以下「アストラムライン」）は、9月1日より、新たに開発したデジタルサイネージ一体型空調機の実証事業を開始しましたので、お知らせします。

デジタルサイネージ一体型空調機は、55 インチのデジタルサイネージとドレンレススポットクーラー※を一体化した設備です。空調機能による当該設備周辺における暑熱対策・快適性向上を通じて、駅ホームなどの滞留空間におけるデジタルサイネージの視聴者数・視聴時間等の拡大につなげ、広告効果の最大化を図ります。

本実証では、アストラムライン安東駅ホームに、当該設備のプロトタイプモデルを設置し、搭載した AI カメラを活用して、空調稼働時と停止時のサイネージの視聴者数、視聴時間、視聴者属性、通行人数等の変化を分析するとともに、駅利用者および施設管理者の声を収集します。これらを通じて、滞留空間の快適性が広告効果に与える影響を評価し、新たなサービスモデルとしての事業性や今後の展開可能性を検証します。

※冷房時に発生するドレン水（結露水）を機器内部で蒸発処理するため、排水作業や排水配管が不要なスポットクーラーです。設置や移設が容易で、工場・倉庫・サーバールームなどの局所冷房に適しています。

1. 実証事業の背景

近年、地球温暖化等を背景に日本各地で真夏日や猛暑日が増加しており、公共交通機関の駅ホームなど、利用者が一定時間滞在する空間において、暑熱対策や快適な待合環境（クールスポット）の整備が重要な課題となっています。

一方、企業や自治体においては、生活者との接点を生かした情報発信やデジタル広告への関心が高まっており、視認性の高いデジタルサイネージは、地域情報、観光情報、広告、リクルート情報、防災情報などの発信媒体として活用の可能性が広がっています。

ESS は、企業向け事業におけるブランド認知向上や新たな顧客接点の創出を課題として捉え、これまでの空調機などのエネルギーサービスなどで培った知見・技術が課題解決に向けて活用できると見込み、ICHIKAWA、TMES、日本ピーマックと連携し、空調による快適性とサイネージによる情報発信を組み合わせたデジタルサイネージ一体型空調機の開発を進めてきました。

2. デジタルサイネージ一体型空調機の特徴

- **快適性の提供**：駅ホームや商業施設、イベント会場等におけるスポットクーラーとして、利用者の暑熱対策・快適性向上に寄与します。冷暖房切替による年間を通じた利用も可能です。
- **設置の自由度**：室外機の設置が不要な室内外機一体型の構成により設置自由度を高めています。
- **ドレンレス**：ドレン水を蒸発させる機能を搭載し、面倒な水タンクの処理が不要です。
- **効果的な情報発信**：55 インチサイネージを活用し、地域情報、観光情報、広告、リクルート情報などを配信できます。
- **災害時等の情報発信**：災害時や緊急時に、公共機関の防災情報等を迅速に発信する媒体として活用できます。
- **周辺環境に調和する洗練されたデザイン**

3. 各社の主な役割

ESS	実証事業全体の統括、デジタルサイネージ一体型空調機の商材検討、広告クライアント開拓、効果検証および事業化判断
ICHIKAWA	デジタルサイネージ一体型空調機販売代理店としての共同事業推進、機器製作・設置に係る調整
TMES	デジタルサイネージ一体型空調機筐体設計・製作および保守体制の検討
日本ピーマック	ドレンレススポットクーラーの開発・製造
アドブレックス	デジタルサイネージ配信、広告クライアント開拓
アストラムライン	デジタルサイネージ一体型空調機の設置場所提供



日本ピーマーク



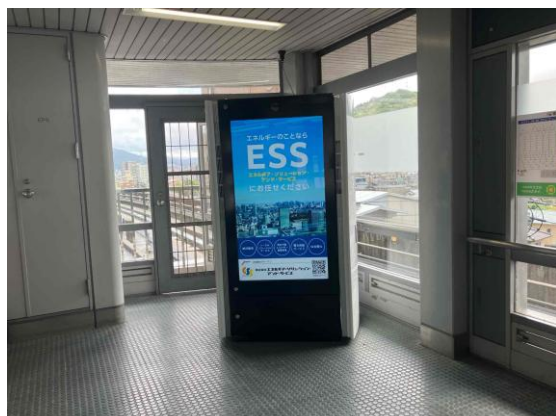
つくるつたえるつなげる

ADPLEX

4. 実証事業の概要

設置場所	アストラムライン安東駅ホーム
設置台数	1 台
実証期間	2026 年 9 月～2027 年 8 月 目途 ※設置状況および分析データの収集状況により変更する場合があります。
実証目的	スポットクーラーとデジタルサイネージの融合による滞留空間の快適性向上が、広告効果に与える影響を評価し、新たなサービスモデルとしての事業性や展開可能性を検証します。
主な検証内容	AI カメラを活用して、空調稼働の有無による視聴者数や視聴時間などの変化を踏まえた広告価値・情報発信効果を検証します。さらに、駅利用者・施設管理者の評価等も踏まえ、設置環境、利用者の受容性、運用上の課題、広告獲得の可能性、収益性等を総合的に評価します。 ※特定の個人を識別するものではなく、個人情報の取得・保存は一切行いません。
協力・関係先	月影デザインコンサルティングおよび株式会社 GK 設計、 シャープマーケティングジャパン株式会社

(設置状況)



(機器外形図)



5. 実証後の展開

本実証事業の結果を基に、公共交通機関に加え、商業施設、テーマパーク、イベント会場等への展開可能性を検討してまいります。

■会社概要

会社名	所在地	代表者	主な事業内容
株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス	広島県広島市中区大手町三丁目7番5号	取締役社長 岩崎 央	燃料販売、総合エネルギーサービス、住宅電化リース等
株式会社 ICHIKAWA	広島県広島市中区小町3番17号	代表取締役社長 市川 二郎	産業・工業・建設機械、電気機器、ロボット等の販売等
TMES 株式会社	東京都港区芝浦三丁目1番21号 msb Tamachi 田町ステーション タワーS 23階	代表取締役社長 横手 敏一	各種設備の保守メンテナンス事業等
日本ビーマック株式会社	神奈川県厚木市飯山南一丁目35番1号	代表取締役社長 土谷 科長	冷暖房、換気、衛生等の設計、製作、売買、設備工事及び保守管理等
株式会社アドプレックス	広島県広島市中区舟入南一丁目1-18	取締役社長 田中 康義	印刷事業、各種広告媒体、電柱広告、ウェブ制作等
広島高速交通株式会社	広島県広島市安佐南区長楽寺二丁目12番1号	代表取締役社長 荒神原 政司	軌道法及び鉄道事業法による一般運輸業等

機器に関するお問い合わせ先

株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス
法人エネルギーソリューション本部 法人営業部

お問い合わせフォーム（ホームページ内）：<https://www.e-ess.co.jp/contact/all/>
電話：082-218-5908（荻，石川）

設置場所に関するお問い合わせ先

広島高速交通株式会社（アストラムライン）
総務部 総務課 事業推進係

お問い合わせ先
電話 082-830-3145（津間）

以上